

富士ソフトが上場連結子会社を完全子会社化—格付への影響は限定的と判断

以下は、富士ソフト株式会社（証券コード：9749）の上場連結子会社に対する完全子会社化を目的とする公開買付けについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 23年11月8日開催の取締役会において、当社は上場子会社4社（サイバネットシステム、ヴィンクス、サイバーコム、富士ソフトサービスビューロ）に対する株式公開買付けを実施することを決定したと公表した。買付代金は、サイバネットシステム154億円、ヴィンクス148億円、サイバーコム73億円、富士ソフトサービスビューロ33億円の見込みで、400億円規模になる。当社の企業価値を高めるには、さらなるグループシナジーを追求することが不可欠であり、上場子会社4社を完全子会社化すべきと判断したものである。
- (2) JCRは収益力の向上と健全な財務体質を踏まえ、格付の見通しをポジティブとしている。本件により財務的な負荷が一時的に強まるものの、中期的には当社の信用力の改善が続くと考えており、格付やその見通しを直ちに変更する必要はないと判断した。今後のキャピタルアロケーションと財務影響、グループシナジー創出の取り組みとその成果を確認していく。
- (3) 本件に伴う買付代金は、自己資金および銀行借入により賄う予定であり、ネット有利子負債は増加が見込まれる。また、利益剰余金などの減額により、自己資本は減少することが考えられる。自己資本比率やネットDERの一定程度の悪化は避けられないが、財務基盤の健全性を大きく損なうものではない。また、当社は安定したキャッシュフロー創出力を有することに加え、今後は外部に流出していた子会社の利益を取り込めるようになる。さらに、保有不動産の流動化を進めており、買付代金と同程度のキャッシュ創出が期待できる。

（担当）佐藤 洋介・安部 将希

【参考】

発行体：富士ソフト株式会社

長期発行体格付：A-

見通し：ポジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル